

定例研修会

インプラント治療のトラブルシューティング 急増するインプラント医療事故への対応

講師：矢島 安朝（東京歯科大学教授）

日時：平成21年11月1日(日)

場所：東京ステーションコンファレンス



橋本 真（千葉県）

今年最後の定例研修会が、11月1日に東京ステーションコンファレンスにて行われました。午前中は、会員の発表でした。太田宏彰先生、樽見寿先生、安藤寿勇先生、迫田竜二先生、高橋純一先生の5名が発表してくださりました。

午後は、特別講演で、東京歯科大学口腔インプラント学講座主任教授の矢島安朝先生がお話してくださりました。演題は、「インプラント治療のトラブルシューティング 急増するインプラント医療事故への対応」でした。

金属アレルギーのこと、口腔癌のこと、色々なコンセンサスについて、重篤な医療事故についてなどを、約4時間にわたりとても内容の濃い講演をしてくださいました。

先生のご講演で最も印象的だったのは、コミュニケーションの能力がいかに大切かということでした。「話がなかった」、「話を聞いてくれない」と訴える患者がとても多いとのことでした。患者との信頼

関係が崩壊しないためにも、医師がもっとコミュニケーションスキルを向上させないといけないと話されました。

コミュニケーションの原則としては、傾聴、共感、受容が大事であるとのことでした。患者から訴えられない医師の特徴としては、オリエンテーション、笑い、ユーモア、促しが優れているとのことでした。

矢島先生は、インプラントやコミュニケーションに関する本も多く出版されていますので、どうぞ参考にしてください。

